

24年度第4回 運営推進会議議事録

平成24年10月24日

記録 齊藤・石井

参加者

福祉課	福祉施設係課長	阿部様
	政策推進課長	杉原様
	政策推進課政策調整係	横山様
緑町	町内会長	首藤様
	副町内会長	松木様
	ご家族様代表	山中様
	スタッフ	中村・杉谷・松村・櫻庭・米田・齊藤・石井

議題1 SOSネットワーク・サポーター養成について

中村 : ボランティアバスについて始める前に、前回の会議の時にSOSネットワークの事について、やる・やらないの話しあいがあったと思うが、実際今年は9月末に役場の方ではひだまりと一緒にやった。サポーター養成講座に何名くらい出たか定かではないが、サポーター養成講座と警察の携帯を使ったネットワークの検証を行ったと聞いた。私どもは何をしようかと言うと、前に9月を目標に考えていたが、外に出て地域の人に声をかけていただくよりも、何が必要なのか。声をかけて「こんにちは」と挨拶しながら検索だけでなく、地域の子どもからお年寄りまでに関わる中で、みんなで話し合える内容のものをしてらどうかというご意見をなるかわの町内会さんから頂いた。大牟田市で全福祉課長と首藤さんとで行って頂いた時にSOSネットワークの検証で大谷みこさんっていう指導者の方がいるんですが、その方に来て頂いて、認知症の正しい理解だったり、高齢者との関わりをたくさん勉強している方がいるので、年内は厳しいが1月か2月を予定している。町内会や地域の子どもからお年寄りまで色々なメンバーに入ってもらって自分達の地域をどうやって作っていくか、どういう所が足りないのか、どういう物が必要なのかという事のグループワークをやれば良いなと考えており、調整をしているところ。高齢者が歩いて見つけるというSOSネットワークの内容とは違って、もっと密に話し合っ進めていければと思っている。詳細が決まったらご連絡したい。年内中もしくは年明けの早い段階でどういう形で行っていくかというものをお知らせ出来ると思う。今回は花かぞくさんも一緒にやろうと思っている、詳細が決まったら町内会長さんのところにご説明させていただこ

うと考えている。地域包括のほうにお願いなんです、認知症サポーターという形ではなくキャラバンメイトを12月の頭くらいにやりましょうという事で谷口さん調整をしている。キャラバンメイトは厚生労働省がやっていて無料で30名集まれば出来る。8時間の講習を受けなければならないが、町内会長さん、副会長さん、できれば役場の職員の方にも受講していただいて、名簿を作っていきたい。七飯町にキャラバンメイトが少ない。サポーター養成するのもキャラバンメイトをもっていないと出来ない。地域の方がキャラバンメイトを持ってサポーター養成講座を徐々にやっていければSOSネットワークも浸透していくのではないかと。受講すると厚生労働省のほうに登録される。認知症の方が増えているので、認知症の理解を深めていければと考えている。

松木様：それはまったくのボランティアで無料なのか。

中村：ボランティアで無料。函館では150人近く養成しているが、うちは私しか持っていない。七飯町は一桁台だと思う。8時間のうち午前中はほとんど講義で午後からグループワーク。うちの杉谷が認知症指導者なので、指導者か医者でなければ出来ない。30名以上集まれば出来るが、七飯町は初めてなので声をかけると結構な人が集まると思う。SOSネットワークにもつなげていきたい。

## 議題2 ボランティアバスについて

中村：去年緑町で8月から10月までと12月から2月まで行った。配布した資料は利用集計結果となっているので参考にしてください。緑町の管理者会議の中でボランティアバスについてどのように考えているのかを聞いたので松村から報告する。

松村：ボランティアバスをどうするか、冬の間やってみて、私的には継続していきたい。緑町で一人暮らしで散歩する人多い。この間うちの施設の前で転んだ人がいる。ちょうど風も強かった。そういうのを見てやっぱり必要だと思う。関わりを持たないと一人暮らししている方の様子等がわからない。ボランティアバスを行う事で「今日来ないなあ」と思って気かけれる。そう思って続けたいと思っている。

中村：運営推進会議の中で議題として出てきたが、グループホームだけで考えていくのではなく、緑町全体として取り組んでいきたい。ボランティアでやらせていただいており、1日3～5名くらいでお買い物されて「お兄ちゃんコーヒー飲みな」「荷物持ってきてくれてありがとう」「味噌や醤油が買えたよ」などの声を頂く事がスタッフにとって宝になる。本来仕事ならばもらってはいけないが、ボランティアなの

でそれを共有できる。去年やったのに今年はやらないというのはどうなのか。去年使っていた方が使われるか、また使っていなかった方が使われるかもしれない。1年経っているのでそれはわからない。皆様から意見を頂きたい。

首藤様：資料を見ると数は少ないけども利用している人は喜んでいて。緑町にはお店が一つあるが休みが多くなってきている。そうなるとうっかり上に買い物に行くことになる。去年のデータを見ながら、今年もやっていただくとありがたい。

松木様：民間の企業がタダでやるのは無理があると思うが、この話が出た時からありがたいと思っていた。

首藤様：この前のやり方と同じなのか。

中村：同じやり方でやろうと思っている。

杉原様：新聞記事を読んで知っている方も利用していた。鳴川でも緑町の事を参考にして鳴川の町内会でも進めたいという話があるので参考になる。緑町では乗車する場所を自宅前ないしその近くで4地点でまわっている。買い物の場所も月曜日は魚町で火曜日はラルズで、同じ人でも月と火使っている方もいるので十分利用しているんだなあと思った。

首藤様：最初は集合場所がわからないからだいたいこの4箇所を決めている。

中村：町内会の方から出てきた案ですね。最終的には戸口から戸口なんですか。

松村：帰りだけ。行きは各集合場所に迎えに行っている。

松木様：町内会で月2回アップル温泉に行っている。これについては戸口から戸口までタクシーみたいな感じで送迎している。介護の人は遠慮してもらっているが、このバスについては介護の人も良いんですね。

中村：基本的には介護の人は望ましくない。介護が必要な方は介護保険使って買い物はヘルパーさんがしてくれる。

松木様：アップル温泉に行った人が帰りに缶コーヒーを買って運転手にくれた。くれた方は「私たち、あの人達にこういうものあげてる」と言っていた。やらない方は「あ

れ～」と言っていたので私達はもらわない事を徹底して行っている。黙ってくれればいいが、みんな言ってしまう。気持ちでやるけども言わないと良い。言ってしまうから、やらない人が悪い気持ちの感覚になる。そういう経験もあるので、ここでやるのと町内会でやるのとは違うかもしれないが、もらうのは拒否した方が良い。

中村 : うち買い物行くのは女性だけだと思うので気心がしれてるから、おそらくやった・やってないというのは出て来ないと思う。1回も出てこなかった。

松木様 : 回りに言って無いって事なのか。

松村 : そうだと思う。買ってくれるのは特定の人だけ。

中村 : こないだも社協のバスの事で杉原課長の方から話が出た。社協のバスを町内会費で借りてると思うが、運転も町内会の人で運転しているんですね。うちは全くの無奉仕でやっている。町内会費が出ているがうちはそういうものがないので、その違いは大きいと思う。バスの運転も大変だと思う。

首藤様 : 月2回、午前・午後と1日2回、2往復している。その中で最近バスの運転手が1回倒れた。

松木様 : 女性の方が先月の27日に利用している人の中で最高年齢。でも全然元気で介護も受けてない。入浴後、着替えている途中で脱衣場で倒れた事があった。慌てて救急車呼んだ。前もどこかの町内会で倒れたって話を聞いた。町内会では3つくらいしかやっていない。

中村 : 今何人くらい登録しているのか。

松木様 : 登録しているのは15人くらい。

杉原様 : 登録15人でだいたい最大乗車は何人くらいか。

松木様 : 8人乗れるけど最初から8人は乗っていなかった。空いている日に私か会長どちらかが乗っている。

中村 : 誰が運転するのか。

松木様：私も運転するけどボランティアでも何人か運転する人がいる。

杉原様：車は何台使っているのか。

松木様：1台しか使っていない。午前と午後で月2回、第2と第4の木曜日で行っている。  
大川は第1と第3の水曜日で金曜日が東藤城だったと思う。

首藤様：高齢者なので何が起きるかわからない。

松木様：目配り、見守りを兼ねてやっている。

首藤様：お金が全部会社持ちっというのは気の毒と思っている。

中村： お金が目的ではない。地域の年々現状が変わってきているのを行政に知ってもらいたい。

首藤様：たとえば、敬老の日に高齢者にお祝いやった。普通高齢って65歳以上の人だが、最初は70歳以上の人にお祝いをやっていた。だんだん増えていって75歳以上の人が増えている。今は町内会に入っている人で180人くらいいる。町内会に入っていない人も含めればもっといる。

松木様：この5～6年増える一方。高齢化率も平均して33～34%。1丁目、2丁目、3丁目です。役場の統計で町内で25%くらいか。

阿部様：地域によって違う。一気に子供達も独立して行って子供もいなくなって高齢化が進んでいる。若い人が少なくなっている。

松木様：町内全体で2万8800人の25%だけど、緑町で見ると人口比が4,67%で約1100人くらいいる。その中で高齢化率が33～34%は高い部類に入ると思う。

中村：なるかわでやったとき、若い人にも参加していただけるようにボランティア通貨を作ると、もっと参加型になっていくのではないかという話が出た。運営推進会議を通して、たとえば緑町の現状が役場の方々にもわかってもらえるだろうし、緑町でボランティアバスを検証してみたのは良い事だったと思う。町内で一番高齢化率も高いと思うし、ボランティアバスを使って自分達が買い物をする事が

できたから満足するという事ではなくて、一番の目的は近所の方々が自然に話をする事が出来る場を作る事だと思う。こういう話を聞いたんですが、ある子供が自分のおじいちゃんを見て「じいちゃん汚い〜」って言った。どんな状態であっても自分の親の父さん・母さんなので、それを聞いてどういう世の中になったんだとショックだった。だからこそ、小さい子供から大人まで共に協力し合いながら生活できる環境を作って行かなきゃダメだと思っている。自分も高齢化していくから「汚いばあちゃん」って言われるより「ばあちゃん元気かい」って言われるような社会を目指していきたいと思う。近所の高齢者がいなくなった時に一緒に探して連れて来てくれる、認知症の人が出て行って心配そうな顔をしている人がいたら、ハッピーに連れて行けば何とかしてくれるだろうという、そういう窓口になっていければ良いと思っている。自分が将来年を取った時に自分もそういう風にしてもらいたい。うちのスタッフもそういう気持ちでいると思う。

杉原様：緑町の場合、七飯町の一番最初から宅地分譲から始まっている。そういうところに移り住んできた方は子供ならいい年になっていると思う。今年の4月から空き家空き地バンクというものを封鎖屋さんにご協力いただいて、自分が施設などに入る時に住んでいた家を貸したり、売ったりしたお金で施設に入る事が出来るという事で始めた。

首藤様：去年は12月〜2月でやったが今年も同じ時期にやるのか。

松村：今年も同じで2週に1回で行こうと思っている。

中村：お話を聞いていてご家族様として何かありますか。

山中様：たいへん年配の方が増えているので、周りが見て行かないと思うし、こういうお買い物バスがあれば、年配の方にとってはとてもいい事だと思う。ただボランティアというのが気がりではある。

中村：ここにもボランティアと出ているが、若い人が地域の中で何が出来るのかって考える発想だと思う。

横山様：お買い物バスで直接商品を見て選ぶのが1番良いと思う。カタログとか通販とかもあるが、やはり直接見て手に取って選べるのが良い。そういう刺激ある生活することで高齢者の方々も生きがいを持てる。刺激というのは必要。お買い物バスにかかる燃料などはどれ位かかっているのか。

中村 : 前に金額はじき出したと思う。 ※資料にて確認

杉原様 : 夏場は8回で 4440 円。冬場は4回で 2220 円。だいたい3~4 km くらいなので 300 円くらい。

中村 : 最終的に経費を出して星村さんの方に提出したが、そのままになっている。そんなにお金はかかっていない。五号線は通らないで下の道から魚町・ラルズに行っている。緑町・鳴川でやっていて、他の施設からも「やるよ」とかたとえば運送会社さんや商工会でも何でも良いんだけど、元気のあるところが「うちもやるよ」という物が出て来れば良いと思う。誰もやらないからやらなくてもいいではなくて「うちの方がうまくやっていける」というのがいつか出て来ると思ってやっているが、なかなか出て来ない。

松木様 : 町内会の行事が多すぎる。役員に当たっている人は大変。それを見ている人は役が当たれば自分が大変になる。町内会の行事を何とか減らさないといけない。班長も区長もみんな負担掛かる。社協から来るものも、役場から来るものも、教育委員会から来るものもやっている。

中村 : 町内会の管轄を一つに束ねている下締めはどこなのか。

松木様 : 下締めは町連。いろんなところをやる事をどっかで調整するところがあれば良いがそれも難しい。所帯数が多い所と少ない所で変わる。一番少ない所で 15 所帯くらい。

杉原様 : 緑町のハッピーさんは町内会に入っているのか。

首藤様 : 特別会員で入っている。

杉原様 : お買い物バスを運行しているのはデイサービスなのか

松村 : ショートステイ・デイサービス・グループホームの全体で行っている。

松木様 : ある車をやりくりして行っているのか。

松村 : そうです。

杉原様：いろいろ考えたんだけど、結局町内会の主体で、ハッピーさんのグループホームも町内会に入っていて会員なら、先ほど町内会の方で温泉送迎でボランティアで運転してくれているという話で、延長線上で考えるとハッピーさんのスタッフが運転しても町内会の会員としても取れる。おんぶに抱っこ状態なので役所としても燃料費や実費相当分くらいはと思っている。

中村：社協のバスを使いたくない理由がある。うちは無制限の保険に入っている。営業車なので事故が起きても対人・対物全部出るようになっているので、万が一お買い物に行き事故が起きた、ぶつけられてしまったとなっても保険に入っているので保険対応で治療やお見舞いなどまかなえる。だから社協のバスや他のところのバスは使わないで自分のとこのキャラバンを使っている。慣れている車だし、操作もしやすい。人の車を借りて運転するのはリスクが大きい。

杉谷：お話を聞いてて良いなあと思う。ボランティアバスという所で考えると、名前自体が印象に残りにくいと思う。

中村：名前変えたと思う。

松村：はい。お買い物号です。

杉原様：たとえば、月曜にお迎えに行ってお風呂に寄って入りたい人を降ろして、スーパーに来て、1時間とか待たなければいけないから、そういうのを兼ねる事もどうなのかなと思った。

松村：お買い物だけだと時間かからない。30分もかからない。

松木様：ふたつも一緒にやるなら事故の元。

杉原様：社協のをやめて、温泉送迎は月2回で少ないから一緒にやるのはどうか。

松村：お買い物をする人を降ろしました、お風呂の人を送ってきますとなると買い物をしている人が待つ事になると思う。その時間をどうするかという事になる。お買い物はホントにそんなに時間かからない。

中村：午前中か午後なのか。

松村 : 午後です。お買い物号を利用していた方も何をかうか決めていたみたいで、チラシ入ってるので、それを見ながらかうもの決めてくる。

杉原様 : 町のコミュニティバスの構想があったが、そのアンケートを取ったが必要か必要でないかは大体半々に分かれた。それは循環路線だったから温泉行ったりスーパー行ったりして、待ち時間が出て来る。

中村 : 夏場は循環路線でも良いと思うが、冬場は温泉とかは暖かいから待っていられると思うが、スーパーへの買い物を終えた方が待つのは、喫茶店などがあればいいが待つ場所がない。コミュニティカフェみたいのがあれば、買い物をしながらカフェでお茶飲んだり出来れば良いと言う話しをしていた。  
最終的には職員が今年も 2 週に 1 回行っていこうと考えている。予定板や案内のチラシを作って準備していく。

松村 : 案内チラシは今年配ろうかと思う。去年は回覧板にはさんだが、うまく説明出来ていなかった。説明不足もあったと思うので今回は一件ずつ回って説明しようかと思っている。そうすると人数が増えてしまった時に対応出来なくなるかもしれないが。

中村 : それは首藤さんとも、どういう方法がいいのかご相談しますので。12 月、1 月、2 月で行っていきます。最終のまとめとして福祉課からコメントを頂きたい。

阿部様 : 利用していた方々の声を出してほしい。

中村 : 前年度の時に実際に利用してくれた方も会議に入ってどうだったかを聞かせていただいた。議事録にも載っている。前年利用された方にも運営推進会議に出てもらって、使ってどうだったのか、今現状どうなのかという事を当事者の方にも入っていただいて話出来ればと思っている。

首藤様 : チラシを回覧で回すのに 10 日みてないといけない。それを集計して誰が参加するかなど計画を立てて行かないといけない。

松木様 : 二通りのやり方がある。今会長が言ったように町内会に出して町内会でまとめて出すという方法で 10 日くらいかかる。早くというのであれば、出すには出すが返事は直接もらう方法がある。

中村 : 町内会に出してもらって、お問い合わせはうちの方で行えば良い。チラシは作ったら一度持って行かせる。案内板は大きい字でカラーで作る。12月からなので早めに作って早めに配るようになっていく。そういう形で来月も同じ時期くらいに出ればと考えているのでよろしくをお願いします。

質問等ない為終了